



2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラン / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアウトシティホテル浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



第758回例会4月2日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：稲野清治 高木一浩
- 点鐘：鷲津有一 ■週報：松島弘明
- ロータリーソング：「希望のエネルギー」
- ゲスト：パワーボールチーム プレバ浜松元監督 藤原道生様
故 安藤会員の奥様 由紀子様

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 64 名 出席率 85.33%
前々回出席率 60.53%

- ① 鷲津有一会長
- ② 社会奉仕部会一同
- ③ 金山土州会員
- ④ 近藤雅彦会員・諸星圭吾会員

会長挨拶

おはようございます。

卓話講師の藤原道生様、早朝よりありがとうございます。また、安藤由紀子様もわざわざお越し頂き、ありがとうございます。

昨日は、新元号「令和」の発表がありました。今はピンとこなくても、5月に入り使い始めれば馴染んでいくものだと思います。

藤原さんは長年に渡りバレーボールの指導をされていていらっしゃいます。

バレーボールといえば、昔は日本のお家芸と言われていました。

1964年のオリンピック東京大会で女子が金、男子が銅、つづく1968年のメキシコ大会では男女ともに銀、さらには1972年のミュンヘン大会では男子が金、女子が銅とメダルが当たり前でした。

特にこの年は、大会直前まで、バレーボール男子日本代表をモデルにした「アニメドキュメント ミュンヘンへの道」がテレビ放送され、金メダル獲得という素晴らしい感動を与えてくれました。

ただ、バレーボール競技がオリンピックの正式種目になったのは1964年の東京大会で、その後オリンピックの正式競技として定着すると諸外国が競技力を上げ、1988年のソウル大会以降メダルを獲得することはおろか、出場すらできない大会も多く、2012年のロンドン大会で久しぶりに女子が銅メダルを獲得しました。

私は中学時代、バレーボール部に属していたため、懐かしくなり調べてみました。

③2019年7月27日・28日にモンゴルで行われる世界米山大会の案内が届きました。オールパワーで詳細を送らせて頂きますので各自確認をして下さい。

④2019年9月14日 14時から米山梅吉創立50周年記念式典が開催されます。事務局に各自確認をして下さい。

⑤米山梅吉物語が出版されます。事務局に各自確認をして下さい。

⑥レターケースにロータリーの友4月号を配布いたしました。

⑦先日、寄附をした常葉大学ボランティアグループの東北復興プロジェクトから報告書が届きました。詳細は幹事又は事務局に確認して下さい。

委員会報告

①職業奉仕委員会 河村会員

5月の職場訪問例会の報告時に写真を使用したいリーダーの方は事務局に事前に送付するか当日、USBにて持参をするようにして下さい。

②次年度幹事 堀内会員

4月9日の予定者会議までに計画書を提出して下さい。

③次年度地区副幹事 諸星会員

4月7日に行われる地区協議会ですが、6日の準備、7日の誘導等、皆様の協力をお願いします。

④ゴルフ同好会 松本会員

4月14日に第5グループの親睦コンペが開催されず。6月23日に予定していた青空例会が6月16日に変更されます。

幹事報告

①故安藤会員の奥様 由紀子様から例会場でご挨拶を頂きました。

②藤田光弘会員がロータリー米山記念奨学会からカウンセラーに委嘱され委嘱状が届きました。

議 事

藤原道生様 卓話「言葉の力」について

担当 社会奉仕部会

※詳細は次ページへ

議 事

藤原道生様 卓話「言葉の力」について

担当 社会奉仕部会

藤原道生（ふじわらみちお）様。

1966 年、青森県十和田市出身。順天堂大学、筑波大学大学院卒業後、世界 11 カ国でバレーボールチームの選手及びコーチの指導を務める。2012 年から 2019 年の 2 月まで浜松市の V リーグ女子バレーボールチーム「ブレス浜松」の監督を務める。現職は株式会社浜松ベジタブル経営管理開発部。



アメリカのスポーツの現場で「ベップトーク」に出会い、日本に帰国後「ベップトーク」を学びライセンスを取得されました。

ベップとは元気・活気という意味で、「ベップトーク」とは試合直前に監督や親・上司などが選手や子・部下などに投げかける激励のショートスピーチです。

人間の脳にはネガティブなイメージを打ち消す力が無く、ネガティブな言葉によるコミュニケーションは、ネガティブなイメージをもたらすネガティブな結果に終わることが多くなります。

「ベップトーク」は以下の 4 つの要素で構成されます。

- ① 状況・事実の受け止め
- ② 状況をポジティブにとらえ方変換
- ③ ポジティブに変換したとらえ方を伝え、望ましい方向に行動を促す。
- ④ 激励



スマイル報告

① 鷺津有一会長

藤原道生様、本日は早朝よりお越し頂きありがとうございました。ブレス浜松の監督を退任されたのは残念ですが、新しいステージでの更なるご活躍をお祈りいたします。

② 社会奉仕部会一同

藤原様、本日は朝早くからありがとうございました。とても良いお話をありがとうございました。興味深く聞かせて頂きました。浜松城公園の奉仕作業ではお世話になりました。今後のご活躍をお祈りしております。

③ 金山土州会員

安藤先生の奥様、今日は早朝よりお出かけ頂きありがとうございました。先生の付き添いで入院した私が元気になり人の運命（さだめ）の無念を感じています。先生は奥様が外でご活躍されますことを特に嬉しく思われていました。少し時間が経ち、落ち着かれましたら先生と同様にこのクラブでのご入会ご活躍をお待ちしています。

④ 近藤雅彦会員・諸星圭吾会員

来週 4 月 13 日にライブをします。今回はパワーバンドは出演しませんのでジョーは出ませんが、諸星はリーゼントに学ランという暴走族のコスプレでつっぱりロックを、近藤は映画で有名になったクイーンの Live Aid の再現をします。大音量のライブです。眠れませんし、眠ったとしても周囲に迷惑をかけることはありません。小田木さんも是非どうぞ。4 月 13 日 18 時 30 分から田町のメリーユーで開催されます。詳細は近藤か諸星まで。お時間があれば是非お越し下さい。